

[担当教員]

橋橋修（准教授）栗山尚子（准教授）深川礼子（ofa）

[Teaching Assistant]

大西健太（A69）尾野拓海（A69）蒲田峻大（A69）

■課題概要

図書館機能と地域コミュニティの醸成に資する機能の組合せによって、現代の地域ニーズに合った地域図書館を、計画・設計する。

■演習のねらい

- (1) 公共図書館のネットワークと役割分担、図書館の機能、図書館建築の機能・空間構成を理解すること。
- (2) 施設が立地する地域の歴史、空間的・社会的特徴を把握し、地域コミュニティ施設のあり方を考えること。
- (3) 以上を踏まえて、地域コミュニティ施設としての図書館の望ましい空間を提案すること。

■敷地

阪急六甲駅南側、六甲八幡神社境内に隣接する敷地。

敷地面積 約 3,230 m²

第一種中高層住居専用地域／建蔽率 60%、容積率 200%

**■計画建物の概要**

- (1) 延床面積 1,600 m²前後

(±10%程度の増減は可、ピロティ、庇、バルコニー、屋外階段等は面積に参入しなくてよい。)

注意：敷地は容積率 200%の地区で 3,000 m²以上の敷地面積があるが、本課題では上記の延べ床面積とする。

- (2) RC造、鉄骨造、または木造（準耐火建築物）

- (3) 階数／複数階（平屋建ては不可）

- (4) 所要室：閲覧部門 490 m²程度、集会・地域活動部門 300 m²程度、収蔵部門 130 m²程度、共通適宜、管理部門 80 m²程度～、外部空間（エントランス広場、読書テラス、駐車場 ×2程度、駐輪場 ×20程度）

■提出図面・用紙

- (1) 所要図面

- ・配置図 1/500 建物本体については屋根伏図で示すこと。
- ・各階平面図 1/200 1階平面図には外部空間の計画を明示のこと。
- ・立面図・断面図 1/200 主要面・1面以上。
- ・透視図（必須）1葉以上
- ・模型写真・完成模型（必要に応じて）スタディ模型は必ず作ること。
- ・設計主旨・面積表
- ・ダイヤグラム、プログラム等（必要に応じて）

- (2) 用紙：

- ・A3 ケント紙あるいは同等の紙（プレゼンテーションの工夫として色つきの紙でもよい）（※デジタル仕上げでも可）
- ・鉛筆、インキ等の仕上げ自由。

必然的にうまれる偶然の出会い

柳内あみ

従来の図書館の、カテゴリーごとにラベリングされた整然としたイメージを覆す図書館を老若男女が行き交う六甲に提案する。細胞の様に連続する機能空間の内外は、必然的に新しい本・知識・人との偶然の出会いが生まれる様に計画されている。



洞窟を進めば

山口沙礼

静かな神社と賑やかな道路の間の敷地に、静けさと賑やかさの異空間をつなぎ、本や人々との新たな出会いを生み出す図書館を設計した。緩やかに曲がる通り道は、進む先の空間を曖昧にさせ、人々に期待感をもたらす。異空間をつなぎ、期待感をもたらす様子は洞窟を彷彿とさせる。



交わる静けさー中庭で繋がる神社と街と図書館ー

菅原慎司

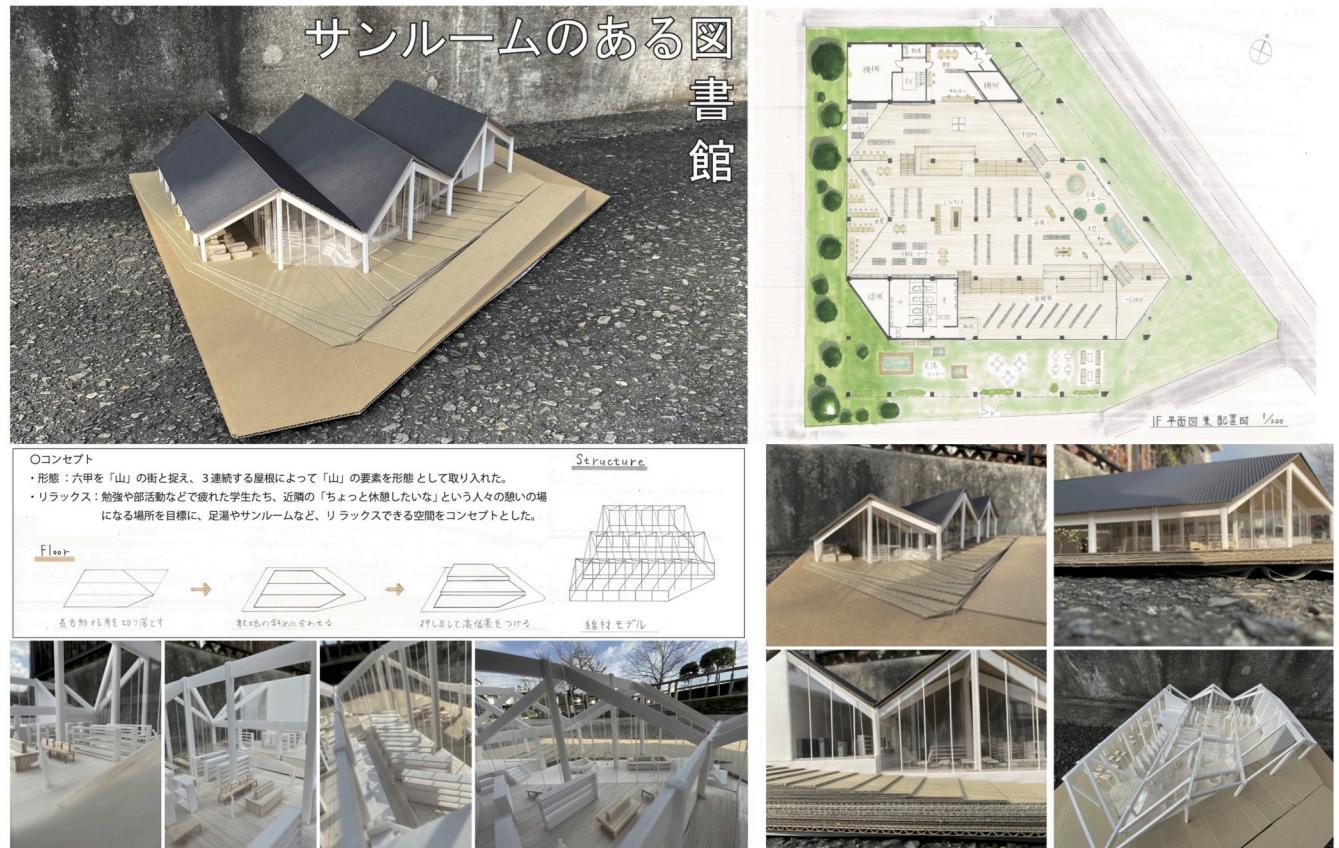
今回の設計のテーマは「静けさ」である。図書館の持つ静かな雰囲気、神社が持つ静寂に包まれる空気感、地域施設として取り入れる街の雰囲気、この三つを取り入れて交わることで生まれる新たな静けさを持つ空間として、中庭を中心において地域図書館を提案した。



サンルームのある図書館

丁子紘亘

六甲山を想起させるような形態と学生たちがリラックスできる空間を目指した。3連続ボリュームの大屋根を架け、その下に軒下やサンルームなどの中間領域を何層にも生み出す。これにより、空間に鋭角的な特徴を与えつつ、リラックスして読書にふけるための居場所を提供する。



LIBRARY IN THE CANYON

千馬生吹

敷地の傾斜を活かしたカフェ併設型の図書館を設計する。カフェと図書館の間に峡谷のような新しい“道”をつくり、そこを通る人々が目的がなくとも気軽に立ち寄れるようにすることで、「図書館=本を借りる場所」という既存の概念を取り扱う。

